

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	0272101015		
法人名	有限会社サニーライフ		
事業所名	グループホームサニーライフ		
所在地 (電話番号)	〒038-2501 青森県西津軽郡深浦町柳田字桜田34-5 (電話) 0173-76-3666		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年10月21日	評価確定日	平成21年12月28日

## 【情報提供票より】(平成 21年 10月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 18年 3月 17日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	7人, 非常勤 2人, 常勤換算 8人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	9,000~冬期12,600 円	
敷金	有( 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
または1日当たり 1,000 円				

### (4) 利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 83 歳	最低	75 歳	最高	89 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	鯉ヶ沢町町立中央病院
---------	------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>深浦町の海岸沿いで、建物の前は国道101号線が通り、日本海が眺望でき、後方には五能線が走っている。ホームの裏には菜園があり入居者が野外活動できる環境づくりとなっている。建物も外見より中に入ると広く、清潔で、入居者の皆さんがリビングに集まり、笑い声があふれた空間となっている。深浦町は風光明媚な海岸線はもちろん、観光名所も多く出かける機会が多く、地域住民の方との交流にも力を入れており、訪問者も多く、地域に密着されたホームである。入居者の皆さんも笑顔が多く明るいホームでもある。</p>
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善点については職員全員で検討され苦情処理体制のマニュアルの作成と担当者氏名を運営規程に記載し改善されている。また、ケアプランに日々の役割や生活に関する内容を記載し、地域でその人らしい生活が出来るように作成され支援されている。プライバシーの確保についても重要事項に明文化され、整備されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で自己評価作成に係り、意見を出し合って管理者が中心になって意見をまとめ作成されている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>入居者のご家族、地域の代表、包括支援センター職員、管理者、職員のメンバーで構成され自己評価及び外部評価について報告し意見を出してもらい、サービス向上と業務改善につなげる取り組みがなされている。また、町で開催されているケアプラン検討会やケア会議にも積極的に参加され、町との連携もとてもよく取れている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>月に一度広報誌を発行し家族へ送付する際に、担当職員から生活の様子を書いたものをいれ、また、玄関には苦情や要望を入れるための意見箱を設置している。面会時には職員から積極的に要望がないか等、声かけをしている。苦情受付の体制もマニュアル化され、運営規程に記載されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の方が魚や野菜を持ってきてくれたりと訪問者が多く、地域に根ざした事業所となっている。また、町の行事などにも積極的に参加したり、ショッピングやラベンダー狩りなどに参加したり、観光地に出かけたりと、外出機会が多くなっている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	代表者の思いをもとに全職員で話し合い、人生の先輩として接し、地域に貢献できるよう理念を掲げ、地域密着にあった地域とのつながりを大切にした、理念となっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、毎月の会議の中で職員と、ともに理念を振り返り、日々の業務の中で生かすように取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の人が野菜や山菜など差し入れをしてくれ、気軽に立ち寄ってもらっている。また、小学校の子供達も散歩の途中で立ち寄ってくれる。更に小学校、保育園の運動会にも入居者と一緒に参加し、地元の集会所へも足を運んだり触れ合う機会を率先して作り、自然と地域に溶け込んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の意義については、運営者、管理者、職員が一緒に会議を開き理解しており、外部評価の結果を受けて改善策を話し合い、今後の取り組みにつなげている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議では入居者の状況や、日々の取り組みと外部評価の報告をし、参加者から意見を引き出しサービス向上につなげるように努めている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町主催のケアプラン検討会やサービス担当者会議に積極的に参加され、地域包括支援センター、医師、看護師、各グループホーム職員や他の関係機関全ての職種が集まり意見交換や情報提供の場となっており、それぞれが抱える問題を検討し合い共有し資質向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>入居者が権利擁護を利用していることで職員全員が制度を理解している。また、会議などでも勉強会を設けて理解を深めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者、職員で虐待について勉強会を設け理解を深め合っているが具体的な内容を十分に理解されてない。</p>		<p>管理者自身虐待防止の徹底について必要性を理解されていることから具体策をマニュアル化する事を期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に重度化した場合も踏まえて説明し、重要事項説明書をもとに本人、家族に理解頂けるよう十分な説明がされ、同意を頂いている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月の行事や日々の暮らしの様子を広報にし、毎月各家族へ送付している。職員のコメントを必ず書き込み、日常の様子がわかりやすいように配慮されている。また、金銭管理についても毎月報告し捺印を頂いている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時に努めて意見を出してもらえるようにしたり、運営推進会議や意見箱の設置をして、思いを表現できるようにしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は無く、職員全員が話しやすい雰囲気づくりに努め入居者間の会話や笑顔が絶えない場となり落ち着いたホームになっている。離職の際は、さりげなく対処されていることで、利用者自身戸惑うことなく新しい職員に自然と馴染めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修会に積極的に参加しており、内部の勉強会によってその内容を全職員が共有している。既に研修した職員は振り返りの場として新人は学びの場として、職員全員の資質向上に繋がるように努めている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他市町村のグループホームや老健施設などの見学をし、意見交換を行いサービス向上に取り組んでいる。また、深浦町の会議が月2回開催され、医師、保健師、薬剤師、看護師、福祉関係職員、行政が集まりネットワークを作り、一丸となって地域の高齢者を支えている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居時に本人、家族より生活歴や趣味などあらかじめ把握され入居後もコミュニケーションを十分に図りゆっくり時間をかけ本人の思いに寄り添えるよう、馴染めるような雰囲気作りがされている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として味付けや下ごしらえを教えてもらったり、励まされ元気付けられることも多く、家族的な雰囲気目上の人を敬う姿勢ができていますので互いに尊敬の念を言葉にし支え合う関係ができています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりとコミュニケーションをとっていることで日頃の会話の中から思いや希望を吸い上げられるよう意識を持って関わっている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、管理者や職員全員が、本人の好む生活スタイルについて考え、意見を出し合って、役割をもった生活を送れるように介護計画が作られるようにしている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しのほかにも身体や精神状況に変化が生じる場合は随時見直しを行っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	治療のための通院介助や送迎介助をしたり、遠方からの来訪者も泊まれるように一帖の畳を各部屋に準備し、入居者とともに過ごせる空間が作られている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	町の診療所がかかりつけ医になっているが本人、家族の要望に応じて入居前のかかりつけ医を利用している人もいる。医療との情報交換や相談等を十分に行い適切な医療を受けられるよう配慮している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化については、入居時に家族へ説明しており、特養ホームとの連携もよく取れている。終末期については、本人、家族の希望を受けながら、かかりつけ医に相談しながら連携し支援している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居時に契約書、重要事項に個人情報の使用に関する内容が盛り込まれており、説明し同意を頂いている。管理者は職員においても個人情報の重要性を説明し職員の採用契約書の中でも同意を得ている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の会話から本人の希望や気づきがあるので、ゆっくり時間をかけ、本人の思いを引き出せるよう寄り添った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>メニューは栄養士のレシピを参考に職員間で相談しあい作成されている。食事も利用者と職員と一緒に準備し片付けを手伝ってくれている。食事中も家族が食卓を囲むかのように、会話が弾み笑いも多く和やかである。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回の入浴を行う。また、入浴できないときは足浴、清拭を行っている。夏場はシャワーも行う。さらに希望に沿い、いつでも入浴できる体制はできている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>お膳の準備や下ごしらえ、テーブル拭き、新聞の整理、縫い物、刺繍、習字などそれぞれの生活歴や力が生かされ、日々楽しく過ごせている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>裏庭に菜園があり入居者と一緒に作り収穫している。落ち着かない人へは気を逸らす為にも、一緒に散歩をしたり、ドライブをし戸外へ出かける事もある。月1回は外出支援で遠出をし皆で楽しんでいる。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>勉強会や研修に参加し、身体拘束をしないケアの実践を周知徹底しているが具体的資料が無い。</p>		<p>管理者自身、身体拘束をしない実践について必要性を理解されていることから、具体策をマニュアル化する事を期待したい。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は鍵をかけないようにしているが、建物の前が国道のため玄関にセンサーを設置し徘徊者の対応を図っている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>火災や津波など想定し年2回避難訓練を行っている。今年は夜間を想定した避難訓練も行い、災害時スムーズに対応できるよう身に付けている。また、近隣にも災害時には協力を頂けるよう働きかけをしている。非常食の備蓄もしており、個人の居室には避難リュックが用意されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>年1～2回は町の栄養士の指導を受け、それを基に職員が、メニューを作成している。糖尿病食の管理も行われている。また水分補給に関しても一日の十分な摂取量を提供し、体調の安定に気を配っている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルが作成され勉強会も行われ、職員へ周知徹底がされている。玄関、洗面所などにも手指消毒されるものを設置し毎日ハイターの薄め液で掃除を心がけている。更に職員、入居者も手洗いうがいに努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の変わり目に合わせ、職員と入居者が一緒に手作りの押し花を作り、各自の部屋の入り口に飾られている。地域の人から届けられた壁飾りが飾られ、明るい雰囲気になっている。また、トイレや廊下、ホールの空間も広くゆったりとしていることで居心地よく感じられる。窓からは日本海が見えて癒しとなっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>仏壇や使い慣れた家具など自由に持ち込みできるようになっている。家では畳で過ごされている方が多いので各部屋には一帖の畳を準備いつでも使用できるように配慮されている。</p>		

 は、重点項目。